

おもしろ算数 ⑥2 (小1・2年生、保護者)

(このページは、^{ページ}直接入力^{ちよくせつにゆうりよく}できません。そのまま見るか、^{みる}印刷^{いんさつ}してもらって^{つかって}使ってね!!)

小学校1・2年生のみなさん、^{ほごしや}保護者の^{みなさま}皆様、こんにちは。

おもしろ算数⑥2は、「かけ算」のお話です。



【算数博士の話】^{はかせ}

かけ算九九の中で、^{もっとも}最も^{だん}むずかしい^{なんだん}段は何段でしょうか。

それは、^{だん}7の段とされています。

$$7 \times 1$$

$$7 \times 2 \quad \dots \dots \dots \bullet 7 + 7$$

$$7 \times 3$$

$$7 \times 4$$

$$7 \times 5 \quad \dots \dots \dots \bullet 28 + 7$$

$$7 \times 6 \quad \dots \dots \dots \bullet 35 + 7$$

$$7 \times 7$$

$$7 \times 8$$

$$7 \times 9 \quad \dots \dots \dots \bullet 56 + 7$$

では、なぜむずかしいのでしょうか。

その答えは、たし算にあります。

$$7 + 1$$

$$7 + 2$$

$$7 + 3$$

$$7 + 4$$

$$7 + 5$$

$$7 + 6$$

$$7 + 7$$

$$7 + 8$$

$$7 + 9$$

◆特に、ここのたし算がむずかしく感じるのです。
それは、なぜでしょうか。

^{くりあがり}繰り上がりのあるたし算では、「10をどのように作るか」が

^{たいせつ}大切になります。

「7+4は、4を3と1に分け、7+3=10と考えます。」

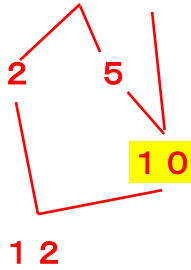
「7+9は、7を6と1に分け、1+9=10と考えます。」

◆7+5、7+6、7+7、7+8では、

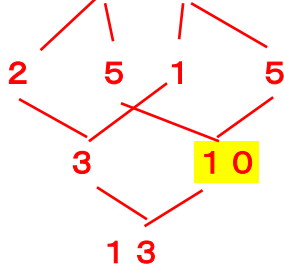
子ども達にとって「10を作るのがむずかしい」のです。

そこで、そのむずかしさを乗り越えるために、次のことを大切にしたいのです

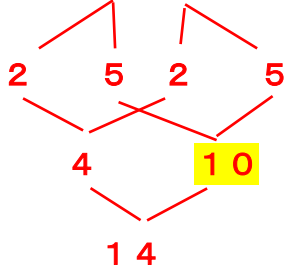
$$7 + 5 = (2 + 5) + 5 = 2 + (5 + 5) = 2 + 10 = 12$$



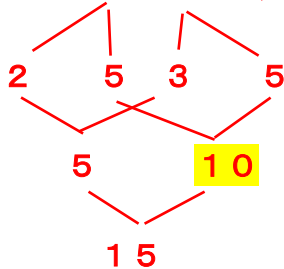
$$7 + 6 = (2 + 5) + (1 + 5) = (2 + 1) + (5 + 5) = 3 + 10 = 13$$



$$7 + 7 = (2 + 5) + (2 + 5) = (2 + 2) + (5 + 5) = 4 + 10 = 14$$



$$7 + 8 = (2 + 5) + (3 + 5) = (2 + 3) + (5 + 5) = 5 + 10 = 15$$



※どのたし算も、(5+5)で10を作っています。

そうすると、子ども達にとって何が大切になるのでしょうか。

それは、7+5では、「7を(5と2)でみる」ことです。

7+6では、「7を(5と2)、6を(5と1)でみる」ことです。

7+7では、「7を(5と2)、さらに、7を(5と2)でみる」ことです。

7+8では、「7を(5と2)、8を(5と3)でみる」ことです。

こうして考えると、7の段のたし算のむずかしさを乗り越える^{のりこえる}ためには、

「7を(5といくつ)でみる」ことになります。

※2年生のみなさん、「7は5といくつ」「6は5といくつ」「8は5といくつ」

「5といくつで7」「5といくつで6」「5といくつで8」

の勉強をしっかりと身に付ければ、きっと7の段のかけ算^{ざんはくし}博士になれますよ。